



9月ほけんだより

令和8年度 安中ひかりこども園

日中は汗ばむほどの暑が続いています。夏の疲れが出やすい時期でもあるので、園では衣服の調節やこまめな水分補給を行い、残暑を健康に乗り切りたいと思います。



8月感染症状況

新型コロナウイルス感染症

手足口病

ヘルパンギーナ

胃腸炎

ヒトメタニューモウイルス感染症

防災週間

8月30日～9月5日

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。

もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しましょう。

こども園では、毎月、火事や地震のどちらかを想定して避難訓練を行っています。



鼻血が出るときの対応を知っておきましょう

血を見るとびっくりするものですが、子どもの粘膜は敏感なため、ちょっとしたことで鼻血が出ます。正しく対応すれば数分で止まります。止血の方法をお伝えします。



① 鼻をぎゅっつつまむ

小鼻（左右の鼻の穴の横あたり）を強めにつまんで圧迫します。



鼻血が出たときに**ダメ**なこと!!

×あおむけに寝かせる

×上を向かせる

のどに回った鼻血を飲み込んでしまいます。

×うなじをたたく

鼻血を止める効果はありません。

② うつむく姿勢で静かに過ごす

鼻血が止まるまでは静かに過ごします。



家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？ **0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。**

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

キッチン



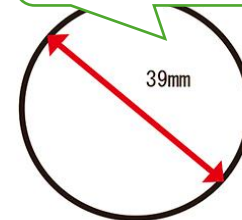
炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

ベランダ



台などによって手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

トイレトペーパーの
芯の大きさは危険！



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

***小さい子どもは、まだ何が危険かを予測することはできず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人が、安全な環境を整えてあげましょう。**